

www.r-toolbox.jp

toolbox

リフォームフローリング

目次

施工前の確認	1
施工手順	2

安全のために必ずお守りください

取り付け前に、この説明書をよくお読みのうえ、正しく取り付けを行ってください。
ここに示した注意事項は、製品を安全に取り付け、あなたや他の人々への被害や損害を未然に防止するためのものです。誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので必ず守ってください。

本文中に使われている図記号の意味は次の通りです。



警告

警告を無視した取り扱いをすると、
死亡や重症などの重大な結果に結びつく可能性があります。



注意

注意を無視した取り扱いをすると、
物的損害を被ったり、傷害を負う可能性があります。



気を付けなければ
いけない注意事項



やってはいけない
注意事項



しなければいけない
強制事項

株式会社 TOOLBOX

URL www.r-toolbox.jp
E-mail contact@r-toolbox.jp

施工前の確認

設置前にご確認ください



製品の品番・数量に誤りが無いか、また損傷が無いかご確認ください。



製品の保管には充分ご注意ください。

雨ざらし、直射日光の当たる場所は避けてください。また、立てかけたりせず、室内の平滑な場所に保管してください。その際直接床面には置かないでください。



この商品は既存の床材に直接施工するリフォーム専用床材です。既存床への増し貼り用途としてご使用ください。

下地条件（既存床上に施工）



木質床材であっても、防音床のような沈み込む床材の上には施工出来ません。



木質フローリング以外の既存床上にはご使用いただけません。



既存床の目違い・不陸はサンダー等で平滑にしてください。凸凹、段差は下地補修剤にて修正し、不陸は1mあたり3mm以内であることを確認してください。石膏系のセルフレベラーは使用しないでください。接着不良の原因となります。



既存床にワックスが塗布されている場合は、ワックスクリナーで除去または表面をサンダー掛け等で除去してください。



既存床が湿っている場合は、乾いてから施工してください。変色・反りの原因となります。



施工面に木クズやホコリがある場合には十分に除去・清掃してください。接着不良の原因となります。

接着剤



ウレタン樹脂接着剤（1液ウレタンタイプ）を必ずご使用ください。推奨接着剤以外をご使用になりますと、床鳴りや接着不良などの原因となります。

推奨品／コニシ（株）：KU-928R（もしくは同等品）



塗布量・作業温度範囲・オープンタイム・貼り付け可能時間については各接着剤メーカーの施工説明書に従ってください。

施工手順

1 仮並べ

- 天然木を使用しているため、色や木目に特有の違いがあります。施工前に必ず仮並べをして、色・柄のバランスをご確認していただくと仕上がりが更に美しくなります。
- 基本的な貼り方は乱貼りになります。

2 接着剤の塗布

- 接着剤が床材の表面に付着した場合は、直ちにウエスで拭き取ってください。
- 下地確認後（既存床）、接着剤を専用クシ目ゴテで下地全面に塗布します。

3 貼り込み

- 床材が膨張し、突き上げが生じる恐れがあるため、壁面との間に3～5mm程度隙間をあけてください。また、これを隠すため巾木を後付けしてください。
- 長手方向のジョイント部は軽くふれる程度に寄せ、短手方向のジョイント部は0.2mm程度の隙間をあけて施工してください。

⚠ 注意

- 絶対に足で蹴り込んだり、無理に叩き込んだりしないでください。
- この商品は接着剤で施工します。釘やフィニッシュネイルは使用しないでください。

4 養生

養生には必ず弱粘性の床用養生テープを使用してください。
推奨品／日東電工（株）：No.395N（もしくは同等品）

- 施工後は傷や汚れ、紫外線による変色、石膏ボードの粉の入り込みなどから表面を守るため、隙間なく養生シート・養生ボードで養生してください。
- 表面の木クズやホコリは十分に除去して、床面全体を覆い隠してください。露出している箇所がありますと、直射日光や紫外線等によって変色し、覆い隠している部分との色違いが生じます。
- 養生テープは粘着剤を使用しているため、テープの上に重量物を載せたり、繰り返し歩行した場合には、粘着力が強くなる場合がありますのでご注意ください。
- 塗膜・単板剥がれの原因になりますので、1週間以上のご使用は避けてください。止むを得ずそれ以上の期間使用する場合は、マスキングテープを貼りその上に養生テープを貼ってください。
- 養生テープを剥がす際には、床材表面の塗膜を損傷する恐れがありますので、ゆっくりと剥がしてください。